

都市消防委員会
説明資料(1)

平成30年12月4日
住宅都市局

目次

名古屋都心部まちづくりビジョンについて

	頁
1 都心部のまちづくりに関する検討の概要	1
(1) 経緯	1
(2) 名古屋市都市計画審議会専門部会「新たな都市づくり検討部会」の概要	1
ア 調査事項	1
イ 部会委員	1
ウ 新たな都市づくり検討部会における検討経緯等	2
2 「名古屋都心部まちづくりビジョン（案）」の概要	3
(1) 策定の目的	3
(2) 名古屋の都心を取り巻く状況と策定の視点	3
(3) まちづくりの方針と将来像	4
(4) 都心の都市構造	5
(5) 拠点のまちづくり	6
(6) 都市軸のまちづくり	7
ア 幹線道路と河川・運河のまちづくり	7
イ 主たる都市軸の将来像	7
(7) 拠点連携と都心界隈のまちづくり	8
(8) ビジョン実現に向けて	9
ア 民間投資の促進による都市機能の誘導	9
イ まちづくりへの多様な主体による参画の促進	9
3 今後の予定	10

名古屋都心部まちづくりビジョンについて

1 都心部のまちづくりに関する検討の概要

(1) 経緯

年 度	策定された計画等
平成15年度	「名古屋市都心部将来構想」
平成23年度	現行「名古屋市都市計画マスタープラン」
平成25年度	「栄地区グランドビジョン」
平成26年度	「名古屋駅周辺まちづくり構想」
平成28年度	「金山駅周辺まちづくり構想」
平成29年度	「なごや集約連携型まちづくりプラン」

(2) 名古屋市都市計画審議会専門部会「新たな都市づくり検討部会」の概要

ア 調査事項

「新たな時代に対応した都市づくりのあり方」について

備考 次期「名古屋市都市計画マスタープラン」に関する調査の中で議論

イ 部会委員

江 口 忍	名古屋学院大学現代社会学部 教授
高 取 千 佳	名古屋大学大学院環境学研究科 助教
徳 山 美津恵	関西大学総合情報学部 教授
秀 島 栄 三	名古屋工業大学大学院工学研究科 教授
福 島 茂 (部会長)	名城大学副学長・都市情報学部 教授
松 本 幸 正	名城大学理工学部 教授
村 山 顕 人	東京大学大学院工学系研究科 准教授
吉 村 輝 彦	日本福祉大学国際福祉開発学部 教授

ウ 新たな都市づくり検討部会における検討経緯等

	年月日	内 容
第1回	平成30年 5月25日	都心部のまちづくりの方向性
第2回	平成30年 7月30日	都心部における拠点のまちづくり
第3回	平成30年 9月19日	都心部における都市軸、界限、拠点連携のまちづくり
第4回	平成30年11月14日	取りまとめ

2 「名古屋都心部まちづくりビジョン（案）」の概要

(1) 策定の目的

- ・2027年度にリニア中央新幹線の開業を迎えるにあたって、これからも魅力と活力にあふれた名古屋の都心であるために、行政と民間で共有できる都心部の将来像を示すもの
- ・2020年度に策定・公表予定である次期「名古屋市都市計画マスタープラン」における都心部部分に反映

(2) 名古屋の都心を取り巻く状況と策定の視点

取り巻く状況	策定の視点
①リニア中央新幹線の開業、スーパー・メガリージョンの形成	スーパー・メガリージョンによる効果の最大化
②産業構造の転換	技術革新によってもたらされる産業構造の変化への対応
③観光需要の高まり	来訪者を増やし交流を促進させる都市の魅力づくり
④人口構造・動態の変化	圏域の中核と調和した都市型ライフスタイルの提示
⑤価値観や働き方等の多様化	多種多様な市民活動等のステージとなる都市環境の構築
⑥激甚化する自然災害	大規模災害に備えた都市の防災性能・災害対応力の強化
⑦都市の持続性に対する意識の高まり（SDGs等）	持続可能なまちづくりの推進

(3) まちづくりの方針と将来像

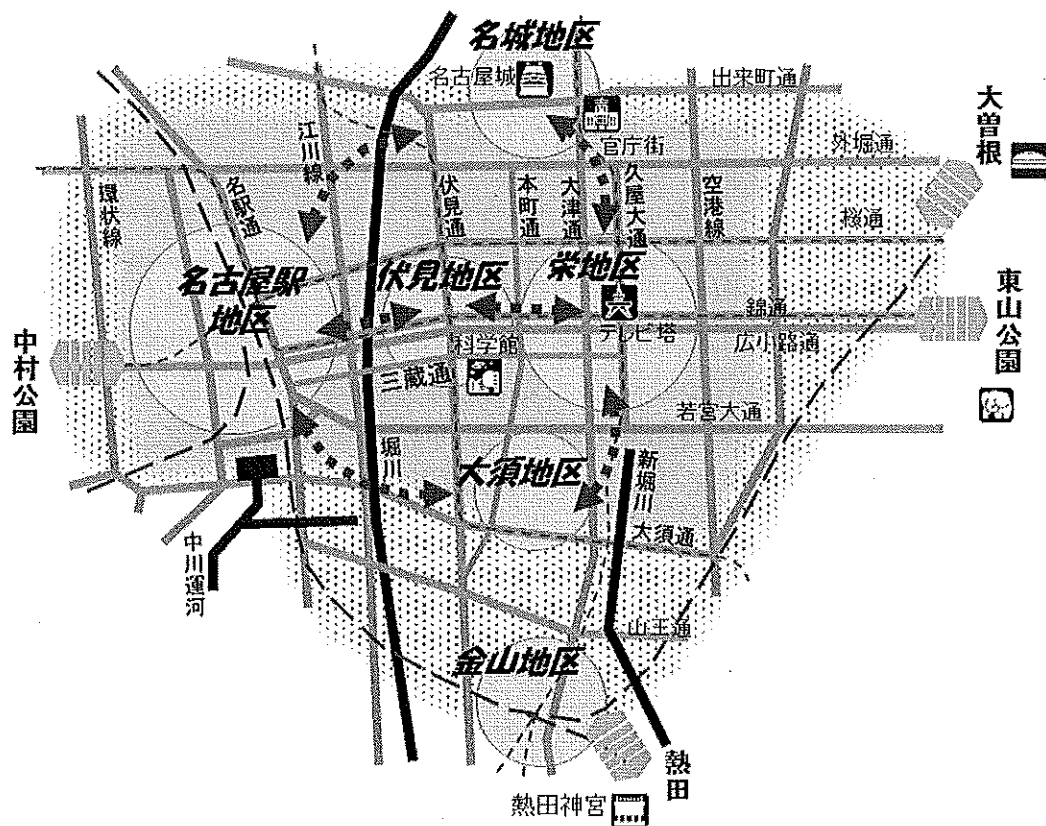
方針 1	国際競争力の強化と民間投資を誘発する環境整備
将来像	『世界中から多様な人々を呼び込みイノベーションを創出するまち』
	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の開業により名古屋の都心がスーパー・メガリージョンの中心となり、名古屋駅を中心に大交流圏を形成 ・国内外から多種多様な職種・立場のビジネスパーソンやクリエイティブな人材が集まり、交流が促進 ・新たなアイデア・価値を生み出す人材の集積や、ベンチャー企業、研究機関等の立地が加速し、従来からの圏域の強みであるものづくり技術と結びつくことにより、イノベーションを創出

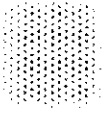
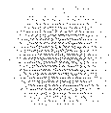



方針 2	訪れたいくなるまちを実現する都市魅力の向上
将来像	『快適な都市空間に訪れる人々の賑わいが広がるまち』
	<ul style="list-style-type: none"> ・再生された久屋大通公園では様々なイベントが開催され、国内外から多くの人々が栄地区を来訪 ・道路空間が歩いて楽しい歩行者優先のみちへと再配分されるとともに、利便性の高い新たなモビリティの導入や自転車利用環境の向上により回遊性が向上し、都心を訪れる人々の賑わいがまち全体に展開 ・インバウンド需要から国際会議まで対応できる様々なグレードのホテルが立地

方針 3	利便性とゆとりが両立した名古屋ライフスタイルの実現
将来像	『ゆとりを楽しむ名古屋ならではの洗練された都市生活を満喫するまち』
	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの推進などにより道路・公園などの公共空間が一層洗練された空間として再編・創出され、エリアマネジメント等の様々な市民活動が活発化するとともに、世代間の交流も促進 ・誰もが自分らしく生活・活動できる、様々な価値観やライフスタイル等を受け入れる多様性のある都市を構築 ・市民にとってハレの場となる高級ブランド店や美しい夜景を楽しめるレストランなど、都心ならではの商業施設が集積

(4) 都心の都市構造

都心の都市構造は、主に「拠点」「都市軸」などの要素から成り立っている。



都心 ゾーン		広域的な交通網と結節し鉄道密度の高い地域（おおむねJR中央線・東海道線、出来町通などで囲まれる範囲で名古屋駅周辺等を含む範囲）
都心部		都市機能が集積している名古屋駅・伏見・栄地区を中心として官庁街のある名城地区及び大須地区まで含む区域
拠点		ある程度の広がりをもって都市機能が高度あるいは特徴的に集積したエリアとして、地域の特性を活かした名古屋の顔となるまちづくりを目指す地区
都市軸		都市の骨格を形成する主要な幹線道路及び河川・運河
拠点連携		各拠点を有機的に結びつけることにより、都心部内の回遊性や都市機能を相乗的に向上させるための拠点間の連携

(5) 拠点のまちづくり

名古屋駅地区	『未来を体感し創造する交流のターミナル』
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の総合交通結節機能の充実と再編を図ることで、約7,000万人交流圏の交通拠点を形成 ・ 多種多様な人材の交流を促進し、日本を支える新たな価値を生み出す、国際的・広域的な拠点・顔を形成 ・ 魅力ある地域資源を活かした多彩なまちをつくり、相互につながることによって一体性のある、歩きたくなるまちを形成

伏見地区	『職・住・遊のプラットフォーム』
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術・文化施設、公園の緑や水辺空間、歴史的建築物などによって醸し出される芸術的・文化的な雰囲気を活かしたまちづくりを推進 ・ 良好な民間再開発の促進により、様々な都市機能と調和した都心居住を実現するとともに、地域住民によるまちづくり活動を支援 ・ リノベーションなどにより、意欲ある起業家の創業を促進し、業務機能が集積している従来からの地区の特性をより一層発展

栄地区	『訪れる人々が心を解き放つ都心のオアシス』
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模公園をはじめとした公共空間を洗練されたゆとりあるシンボル空間として再生・活用することにより、エリアの賑わいを都心全体へ展開 ・ 民間再開発の機会を捉え、商業・娯楽・芸術・文化施設等やオフィス等の都市機能を導入し、多様な人材が集まる環境整備を推進 ・ エリアごとの様々な特色を活かした多様性のあるまちづくりを進めることにより、名古屋らしさを感じられる都心の魅力を向上

名城地区	『歴史と文化に彩られた名古屋のまちづくりの礎』
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋のまちづくりの礎たる歴史・文化資産を、様々な形でまちづくりに活用することにより、奥行きと多様性のある都市の姿を実現 ・ 他の拠点との連携を強化することにより、観光拠点の賑わいを都心全体に広げることで、都市の回遊性を向上

大須地区	『下町情緒とポップが交錯する庶民文化の象徴』
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大須観音などの歴史的な資源と古着屋などの個性的な店舗の集積した商店街の情緒を大切にすることで、多様性と彩りのある都心の魅力を向上 ・ 「ポップカルチャーの聖地ナゴヤ」としてのブランド確立により、国内外から訪れる誰もが集い楽しめるまちの雰囲気を醸成

(6) 都市軸のまちづくり

ア 幹線道路と河川・運河のまちづくり

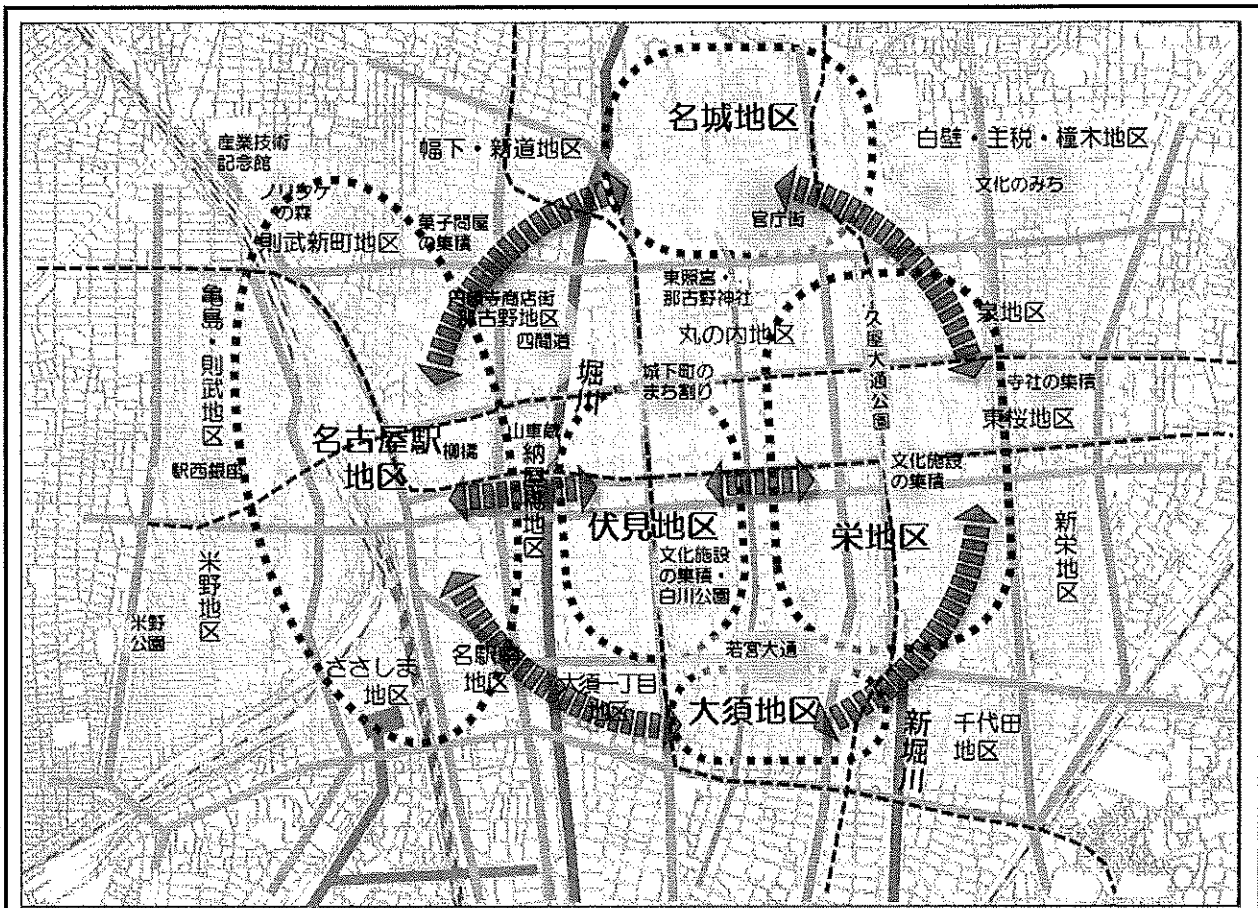
- ・シンボリックな通りを人に優しく歩いて楽しいみちへ道路空間の再配分
- ・沿道の民有地と一体となった快適な都市空間の整備による賑わいが連続した街並みの形成
- ・堀川・中川運河・新堀川の環境整備・水辺空間の魅力向上

イ 主たる都市軸の将来像

広小路通	『名古屋都心を象徴する東西軸』 名古屋を代表する東西のシンボルストリートとして、良好な都市景観の形成と快適な歩行者空間の整備により、平行する錦通と連携して賑わいあふれる快適な街の表情をつくる。
名 駅 通	『名古屋の顔となる駅前の交流軸』 高次の都市機能の集積により、賑わいの連続性を図るとともに、名古屋の顔となる駅前のメインストリートとして、圏域の玄関口にふさわしい風格のある街並みをつくる。
久屋大通	『緑豊かな開放感あふれる南北軸』 緑豊かな久屋大通公園を含む南北のシンボルストリートかつエリア有数のイベント空間として、沿道の土地利用と一体となった開放感にあふれた都市空間を形成し、街を訪れる人々に憩い・潤いと楽しさを提供する。
大 津 通	『トレンドの先端をゆく魅力発信軸』 歩行者天国も実施される圏域屈指の賑わいあふれる通りとして、洗練された魅力的な店舗が連続した、老若男女誰もが楽しめる賑やかな街並みをつくる。
桜 通	『ターミナル駅の正面に位置する景観軸』 名古屋駅の正面に位置する特性を活かし名古屋に降り立つ来訪者が最初に目にする名古屋の風景として、印象に残るファサードを形成する。
本 町 通	『名古屋城下町の歴史をたどる回遊軸』 名古屋城と熱田を結ぶ旧街道に由来する通りとして、名古屋の歴史を感じながら都心を回遊できる仕掛けをつくる。
三 蔵 通	『起業意欲と感性を刺激する創造軸』 都心部の主要なビジネス拠点を結ぶ通りとして、起業意欲を促し、クリエイティブな人々を刺激する創造性豊かな雰囲気をつくる。
堀 川 中川運河 新 堀 川	『都心の水の魅力軸』 都心部における貴重な水辺空間として、水質の浄化などにより都市環境の快適性を向上するとともに、水域・沿岸でのイベント開催、水上交通、夜景の演出、沿岸の景観整備などにより魅力的な都市空間を創出する。

(注) ファサードとは、建築物の正面の外観をいう。

(7) 拠点連携と都心界隈のまちづくり



<p>拠点連携の まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点の持つ機能を有機的に結びつけることで都心部内の回遊性を高めるとともに、都心全体の都市機能を相乗的に向上 ・歩きやすい道路整備に加え、既存の公共交通の利便性向上、新たな路面公共交通システム等により、手軽に利用できる移動手段を確保
<p>都心界隈の まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史性や下町の風情など独自の個性・魅力を保全・開拓することで、都市の多様性を向上 ・エリアマネジメント等の地域のまちづくりを積極的に支援

(8) ビジョン実現に向けて

ア 民間投資の促進による都市機能の誘導

開発計画の内容に応じた容積率の緩和のインセンティブにより、民間投資を促進し、必要な都市機能を導入	
都心部における土地の高度利用	・名古屋駅地区・伏見地区・栄地区及びこの3つの拠点をつなぐ幹線道路において、都市基盤や土地利用の状況を鑑みながら容積率を見直すとともに、地区計画等によって必要な都市機能の導入を誘導しつつ土地の健全な高度利用を図る
メリハリのある土地利用	・個性的な境界については、都市の多様な魅力を引き出すため、境界性を保全

イ まちづくりへの多様な主体による参画の促進

エリアマネジメントによる公共施設の管理や賑わいを創出するイベントの開催など、まちづくりへの多様な主体による参画を促進

3 今後の予定

